



携帯電話用QRコード



町田市役所 新庁舎 7月17日(火) 全業務開始

新庁舎建設は、旧本庁舎の耐震性能不足による地震への不安、防災・災害復興拠点としての機能不足、狭あい、庁舎の分散、情報技術(IT)への対応の限界、駐車場不足などさまざまな問題を解消するために計画されました。計画づくりには、議会や行政だけでなく、市民、学識経験者など多くの方々に参加していただき、2007年に基本設計、2009年に実施設計が完成、2009年10月に建設工事に着手しました。そして、今まで15の施設に分散していた行政機能を1か所に集約し、このたび新庁舎の全面開庁を迎えることとなりました。

新庁舎は耐震強度を通常の1.5倍で設計し、震度7程度の大地震時でも安心して使用できる構造となっています。3階には災害対応に必要な設備を備えた町田市防災センターを設置し、災害時に迅速な対応ができるようになっていきます。また、低層階に市民が利用する機会が多い窓口を集中して配置し、市民の皆さんの利便性の確保を図っています。環境面にも配慮し、太陽光発電パネルの設置、ビルのエネルギーを監視するシステムの導入、屋上の緑化など、地球環境にも優しい庁舎です。

本号では新庁舎の各階のご案内、各課の問い合わせ先等についてお知らせします。

新庁舎概要

住所 〒194-8520 町田市森野二丁目2番22号
敷地面積 15,969㎡

	庁舎	立体駐車場
建築面積	7,661㎡	1,398㎡
延床面積	41,510㎡	4,146㎡
階数	地下1階 地上10階 塔屋2階	地上3階
高さ	42.62m	13.29m
構造	鉄骨造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造	鉄骨造 自走式3層4段 駐車台数195台

総事業費 約150億円

※計画当初、近隣自治体で新設された庁舎の経費を調べ、平均より10万円安い坪単価を基に、総額166億4000万円と想定しましたが、建設費や移転関連コスト(什器・備品、引越等)を削減し、1割の経費削減を実現する見込みです。



新庁舎落成式・見学会を開催しました

6月23日(土)に、新庁舎1階のワンストップロビーで、落成式を開催しました。

また、式典後に行った、見学会や記念イベント(郷土芸能やピアノ演奏、名産品の販売等)には、約8700人の市民の皆さんが訪れ、新庁舎は熱気にあふれました。ご来場ありがとうございました。

新庁舎建設の経過

- 1970年**
旧本庁舎開庁(人口約18万人)
- 1995年**
阪神・淡路大震災
- 1996年**
耐震診断の結果、旧本庁舎の耐震性能不足が判明
- 1999年**
森野二丁目の土地を購入
- 2003年**
人口が40万人を突破
- 2004年**
「市役所の位置を定める条例」の一部を改正(新庁舎の移転新築が決定)
「新庁舎建設基本構想」策定
- 2005年**
「新庁舎建設基本計画」策定
- 2007年**
「新庁舎建設基本設計」完成
- 2009年**
「新庁舎建設実施設計」完成
新庁舎建設工事起工
- 2012年**
新庁舎 竣工・引渡し
新庁舎 開庁

このたび、長年の懸案でありました新庁舎が完成しました。これもひとえに市議会をはじめ市民の皆様並びに関係各位のご理解とご支援のたまものと深く感謝を申し上げます。また、建設中に発生した東日本大震災により、一時資材調達が困難となる中、予定通りに完成することができました。建設に携わられた設計者、施工者、全ての関係者の皆様のご尽力に対しまして、改めて感謝の意を表します。



町田市長
石坂 丈一

多くの市民の皆様のご参加をいただき、そこで得られた意見や提案を反映させながら進めることができました。市民の皆様との連携を深めるための「市民協働おうえん広場」の設置、的確に分かりやすくご案内する「総合案内係」の導入や「ワンストップサービス」の実現、「防災・災害復興拠点機能」の充実など、新庁舎で新たに導入される機能の多くは、こうした意見や提案をもとに実現したものです。

皆様のご協力のもと完成したすばらしい新庁舎を、「町田の未来をつくる」ための拠点として、その機能を十分に生かすとともに、次の世代においても市民協働のシンボルとして、末長く多くの皆様に親しまれる庁舎にしていきたいと考えております。

引き続き市政に対するご支援とご協力をお願い申し上げます。